

自己評価報告書

(令和5年度)

目次
評価項目
(1) 教育理念・目標
(2) 学校運営
(3) 教育活動
(4) 学修成果
(5) 学生支援
(6) 教育環境
(7) 学生の受入れ募集
(8) 財務
(9) 法令等の遵守
(10) 社会貢献・地域貢献

学校法人高知理容美容学園
高知理容美容専門学校

1. 評価項目の達成及び取組状況

(1). 教育理念・目標

1-1 学校の理念・目的・育成人材像は定められているか。	適切…4、ほぼ適切…3、 やや適切…2、不適切…1
教育目標や教育方針並びに重点目標に沿った指導を行っている。	④ 3 2 1
1-2 学校における職業教育の特色は何か。	
多様性の時代、美容師を養成するためカリキュラムのほか、選択コースを取り入れて個性を強化する機会を持たせている。	④ 3 2 1
1-3 社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか。	
高校生等のニーズに注視すると共に関係業界の動向、社会の動向を踏まえて学科の再編も含めて対応していく。	④ 3 2 1
1-4 学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか。	
HP やパンフレット等で教育理念や教育方針などを告知。入学ガイダンスで「学生便覧」を交付し学校生活等について保護者にも説明を行っている。	④ 3 2 1
1-5 教育目標、育成人材像は、業界のニーズに向けて方向づけられているか。	
社会人としての礼儀や一般常識を備えた人材作りとして「マナー」授業を行い、資格検定受験により知識を吸収させている。	4 ③ 2 1

① 課題

社会人向け教育に関するマナー授業に関しては、もっと実践的の目線で授業を取り入れていく。

② 今後の改善方策

今後も関係する業界人による講話、授業等を取り入れて即戦力となるべき人材の育成を目指したい。

③ 特記事項

(2). 学校運営

2-1 目的等に沿った運営方針が策定されているか。	
年度初めに職員会を開催して「学校運営計画」を職員に配布し、重点項目や各ポイント、目標等について説明して共有化している。	④ 3 2 1
2-2 運営方針に沿った事業計画が策定されているか。	
事業計画を策定、実績報告を行い理事会、評議員会を通して共有化している。	④ 3 2 1
2-3 運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか。	
日常的には随時、校長・事務長・教務間で職員会等にて方針等を共有化している。また、学校運営全体の事項に関しては理事長・校長・事務長で運営会議を経て決定している。	④ 3 2 1
2-4 人事・給与に関する規程等は整備されているか。	
就業規則、給与規程、賞与規程、人事考課規程等で明確にしている。	④ 3 2 1
2-5 教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか。	
随時、協議を通して決定している。校務分掌が明確になってなく、業務の効率化につなげていく上でも整備を検討している。	4 ③ 2 1
2-6 業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか。	
学生には「学生便覧」において学生心得として社会規範・道徳等を指導しているが、十分とは言えない。コンプライアンス規程及びコンプライアンス委員会規定を定め、教職員間では共有化している。	4 ③ 2 1
2-7 教育活動等に関する情報公開が適切になされているか。	
学校の事業計画、教育活動、財務、学校評価などの情報を毎年HPにて開示している。また、随時、学校ニュースについてもHPにて公開しています。	④ 3 2 1
2-8 情報システム化等に業務の効率化が図られているか。	
職場管理システムを導入し業務に関する指示徹底を図っている。事務関係、教務関係のシステム化が今後の課題である。	4 ③ 2 1

① 課題

事務・営業・教務の業務効率化に向けて、システム導入による費用等のこともあり、今後の経営課題であり、前向きに検討していく。

② 今後の改善方策

学校運営面で、特に教育方針は職業実践授業を主体とした即戦力人材の育成に向けて進めて行く。

③ 特記事項

(3). 教育活動

3-1 教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか。				
理容師、美容師としてのコミュニケーション能力や礼儀・マナー教育などカリキュラム編成して人材育成を行っている。	④	3	2	1
3-2 教育理念、育成人材像や業界ニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか。				
国家試験全員合格を目標においての体制づくり。また、業界ニーズを踏まえた実践授業などを毎年、見直しを行い進めている。	④	3	2	1
3-3 学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか。				
国家試験に向けたカリキュラムと本校独自の選択課目がある。選択課目については業界ニーズも踏まえたコース制を導入して技術力向上を図っている。	④	3	2	1
3-4 キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか。				
履修計画のコース選択を導入して、外部講師による実践授業を受講することで、個性強化の機会として教育を進めている。	④	3	2	1
3-5 関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか。				
美容技術が多岐に渡ることからカット、メイク、エステ、ブライダル、アイラッシュ、カラー、スパから選択できるようにコースを見直し、業界人との連携により実践授業を行なっている。	④	3	2	1
3-6 関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか。				
1年次の冬休み、2年次の春休みを使って1週間を目安とした校外実習をサロンワークの一環として60時間の校外実習を行っている。	④	3	2	1
3-7 授業評価の実施・評価体制はあるか。				
教育課程編成委員会において授業内容等について説明、評価制度までは至っていない委員等からの意見を参考に授業改善に取り組んでいる。	4	③	2	1
3-8 職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか。				
実務実習終了後、ご指導いただいたサロン様から実習評価を頂いている。そして、頂いたご意見を教員、就職担当が学生指導の参考としている。	4	③	2	1
3-9 成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか。				
学生に交付している「学生便覧」の中に成績評価制度、GPA制度など卒業までの一連の制度について説明し、HPにも公開している。	④	3	2	1
3-10 資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか。				
各種の資格検定の取得を1年次より推奨している。また、国家試験全員合格を目指しており、それに合わせた体制を組んでいる。	④	3	2	1

3-11 人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか。	
主に国家試験主体の授業を専任教員、選択課目を兼任教員が担当する体制を敷いて授業を進めて、外部講師の授業には専任教員が副で入っている。	4 (3) 2 1
3-12 関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保するなどマネジメントが行われているか。	
業界で活躍している方を講師として招聘し、実践的な授業を実施している。	(4) 3 2 1
3-13 関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか。	
毎年、一定のテーマに基づき業界人による「特別授業」を実施して、教員・学生が「学びの場」「研修の場」として行なっている。	4 (3) 2 1
3-14 職員の能力開発のための研修等が行われているか。	
、関連する四国地区理容師美容師養成施設協議会が主催する教職員研修会に毎年、全教職員が参加して自己研鑽に努めている。また、毎年3月に外部講師を招聘して研修を実施している。	(4) 3 2 1

① 課題

教職員の研修計画を計画通り進めることで知識、技術の向上を図っていく。また、外部講師を招聘して授業のクオリティを上げ、学生のみならず教員の育成のための授業としている。

② 今後の改善方策

計画的に研修受講の機会を作っていく。

③ 特記事項

業界人の意見を幅広く受けて、外部評価に繋げていきたい。

(4) 学修成果

4-1 就職率の向上が図られているか。	
県内・県外のサロン説明会に年間3回～5回参加することで就職に対する意識付けを行っている。そして、校外実習を体験することで就職意識の向上を図っている。	④ 3 2 1
4-2 資格取得率の向上が図られているか。	
1年次から関係する各種資格検定に対して学習の機会を与え自主性を高めている。また、国家資格の取得率向上に対する取り組みは教員が全員参加して11月から集中的に行い成果に繋げている。	④ 3 2 1
4-3 退学率の低減が図られているか。	
出席状況や学習態度などの情報を教職員間で共有し、随時面談等も行い学生に対して目標意識を持つことを指導している。また、保護者とは随時連絡を取り問題解決に向けて共有しながら退学率の低減を図っている。	4 ③ 2 1
4-4 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか。	
募集兼就職担当者が、高等学校以外でも就職先サロン先を毎年訪問して卒業生の状況把握している。また学校教育に関してサロン様からご意見をいただき把握するようにしている。	4 ③ 2 1
4-5 卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか。	
卒業後にキャリア形成プランを練ることができるように、業界人の意見等参考にカリキュラムの見直しを行っている。	4 ③ 2 1

① 課題

各種の資格検定に関して、令和5年度は上級合格者も誕生、今後も資格取得に関して1年時から積極的に取得させていきたい。

② 今後の改善方策

上級資格に挑戦できるよう指導者含めて環境設定を行っていく。

③ 特記事項

(5). 学生支援

(5). 学生支援

5-1 進路・就職に関する支援体制は整備されているか。	
県内サロン説明会を年間3回、学外で県外サロン説明会1~2回開催、また、業界人による就職講話も開催して、就職活動を後押ししている。又、就職担当者による個別指導は随時行っている。	④ 3 2 1
5-2 学生相談に関する体制は整備されているか。	
1年生担当グループ、2年生担当グループで学生情報の共有化を行っており、何らかの問題点が発生の都度、随時問題解決に向けて対処している。	④ 3 2 1
5-3 学生に対する経済的な支援体制は整備されているか。	
入学時の経済的負担を軽減する「入学時0円サポート制度」「一人生活応援制度」「兄弟姉妹・親族優遇制度」「資格検定取得者等優遇制度」など学費減免制度を整備している。	④ 3 2 1
5-4 学生の健康管理を担う組織体制はあるか。	
毎年、学生全員に対して胸部X線検査を実施している。また、通学時や授業中の不慮の事故に対する傷害保険にも加入し、学生の健康管理に努めている。	4 ③ 2 1
5-5 課外活動に対する支援体制は整備されているか。	
特にクラブ活動は特にないが、各種のコンテスト出場学生に対する練習に対しては放課後も技術指導を行ったりしている。	4 ③ 2 1
5-6 学生の生活環境への支援は行われているか。	
高知市内にある不動産会社2社と連携して、一人暮らしの学生に対しての学生アパート等の斡旋を行い安心できる生活環境の支援に務めている。	4 ③ 2 1
5-7 保護者と適切に連携しているか。	
日常的に学校生活に問題点があれば随時、保護者と連絡をとっている。特に出席状況、学習面で課題のある学生に対しては保護者面談を依頼し、初改善につとめている。	④ 3 2 1
5-8 卒業生への支援体制はあるか。	
中途退社した者に対して就職斡旋や国家試験不合格者を対象に卒業後も指導、応援している。	4 ③ 2 1
5-9 社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか。	
社会人たちのニーズに沿って、通信課程に一般コース、修得者課程の新設を行い「学び直し」に対して整備した。また、社会人としての「挨拶」「礼儀作	4 ③ 2 1

法」「自主性」など職業教育を授業の一環として向上を図っている。	
5-10 高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか。	
高等学校への出前授業を毎年継続して実施している。また、高知県専修学校各種学校連合会の一員として、県内の高等学校で幅広く職業体験を実施。	④ 3 2 1

① 課題

放課後の自主練習に対しては教室の解放や指導体制を時期によって整備して対応している。

② 今後の改善方策

、練習に対して指導体制を再構築して応援していく。

③ 特記事項

(6). 教育環境

6-1 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか。	
長年使用していた1・2年生用の机、椅子を新しいものに全て取り換えた。また、各教室の空調・照明関係も新調して環境整備を行った。	④ 3 2 1
6-2 学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか。	
実践的なサロンワークを学ぶ事を目的とした校外実習を県内のサロンと連携して一人60時間を基準として実施している。	4 ③ 2 1
6-3 防災に対する体制は整備されているか。	
防火管理者を置き、毎年1回は避難訓練を実施して災害等に備えている。地震体験車両による阪神淡路、東北を想定した地震体験をして認識を新たにしてもらった。将来の防災に対する備蓄等含めても整備していく。	4 3 ② 1

① 課題

防災に関しては形式的なもので終わっているのので、有事を想定した事業継続計画含めた、実際に機能する防災計画を実現する必要がある。

③ 今後の改善方策

教職員の意識醸成が必要であり、教職員研修等を計画していきたい。

③ 特記事項

(7). 学生の受入れ募集

7-1 学生募集活動は、適正に行われているか。				
募集担当者による高校訪問・進学ガイダンス、また、職業理解の分野別説明会への参加、学校の雰囲気等を知ってもらうための本校でのオープンキャンパス、出張オープンキャンパスを実施している。HP や SNS による情報発信をタイムリーに行っている。	④	3	2	1
7-2 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか。				
就職率、各種の資格取得状況、コンテストでの成績などを校内に張り出して学生達に紹介している。またパンフレットやHP で公開している。	④	3	2	1
7-3 学納金は妥当なものとなっているか。				
他校の学費水準も把握したうえで理事会の承認を得て決定している。また、奨学金利用率が上昇している現状を踏まえ設定している。	④	3	2	1

① 課題

人口減少とともに18歳未満の人口減少が大きな課題であるが、選ばれる学校づくりが今後の課題となる。

② 今後の改善方策

昼間課程・通信課程共に強みの構築、教員の指導体制の強化をして差別化を行っていく。

③ 特記事項

(8). 財務

8-1 中長期的に学校の財政基盤は安定しているといえるか。	
コロナ禍でも学生募集の落ち込みはなく、近年の決算状況は安定している。	④ 3 2 1
8-2 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか。	
予算・決算ともに大きな乖離なく、計画に沿った進捗状況で推移している。	④ 3 2 1
8-3 財務について会計監査が適正に行われているか。	
通常の監査に加え中間監査を行い適正な財務管理を行っている。 寄付行為に基づく監査を行い、監査報告書を理事会および評議員会に提出している。	④ 3 2 1
8-4 財務情報公開の体制準備はできているか。	
「情報開示ガイドライン」に基づきホームページに開示している。	④ 3 2 1

① 課題

人件費含めた経費削減の課題もかなり進展し、学生募集の回復に伴って財務面も安定してきた。

②今後の改善方策

学生募集に関しては昼間課程、通信課程の両面において募集強化して学費収入を安定したものにする。

③特記事項

(9). 法令等の遵守

9-1 法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか。	
学校教育法及び専修学校設置基準等、関係法令や学内規程を遵守して、適正な学校運営を行っている。最近の高知県健康政策部・薬務衛生課の定例の指導調査でも一定の評価を頂いている。	④ 3 2 1
9-2 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか。	
個人情報に関しては毎年、入学生には使用目的を明確にした個人情報の取扱いに関して文書で本人及び保護者の同意を得て使用、管理している。また、学外に流出することが無いように個人情報の学外持出しを禁止している。	④ 3 2 1
9-3 自己評価の実施と問題点の改善を行っているか。	
「選ばれる学校作り」に向けて各所の問題点を洗い出してその対策に取り組んでいる。又、学校評価委員会、教育課程編成委員会において各委員からそれぞれの立ち位置で意見を聴取して参考としている。	④ 3 2 1
9-4 自己評価結果を公開しているか。	
事業報告など財務情報に至るまで学校に関する各情報をホームページにおいて毎年公開している。	④ 3 2 1

① 課題

毎年、教職員のスキルアップのために外部講師を招聘して研修を実施しているが、反面、関係する法令等の知識吸収する機会が余りなく課題として残る。

② 今後の改善方策

一人ひとりの意識を醸成しながら、職場内研修として機会を作っていく。

③ 特記事項

(10). 社会貢献・地域貢献

10-1 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか。	
教室や実習室等を授業時間外に学生達に18時までは開放している。これまでは近隣の老人ホームに出向き、理容によるボランティア活動を行ったり、地域イベントに参加してメイクを行ったりしていたがこの3年間は新型コロナにより出来ていない。	4 (3) 2 1
10-2 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか。	
ここ3年間はコロナ禍で学校挙げての活動は自粛してきた。これまでは県内のイベントにボランティア参加する学生の取組みを学校としては支援している。	4 (3) 2 1
10-3 地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか。	
県内の中学校から依頼があれば校内で職業訓練講座を引き受けたり、高等学校からの出前授業等も積極的に行っている。	(4) 3 2 1

① 課題

コロナ禍であったこともあり活動が全くできなかった。

② 今後の改善方策

教育の一環として社会貢献とした活動は積極的に進めて行きたいと考えている。

③ 特記事項